



おうめし ねんご
青梅市の20年後はどんなまち？

おうめし としけいかく ばん
— 青梅市都市計画マスタープラン こども版 —
(案)



1. 青梅市はこんなまち



いま おうめし すがた こうもく みりよく かだい
 今の青梅市のまちの姿を7つの項目にまとめたよ！ どんな魅力や課題があるかな？

おうめし こうしき
 青梅市公式キャラクター ゆめうめちゃん

住宅地

し ひろ はんい じゅうたく とく し ひがし
 市の広い範囲に住宅があり、特に市の東
 がわ じゅうたくち ひろ
 側に住宅地が広がっています。

す ひと こうれいか すす
 ⇒住んでいる人の高齢化が進んでいるの
 で、みんなが安心して暮らせる環境づく
 りを行う必要があります。

商業

おうめえき ひがしおうめえき かべえき しゅうへん おお
 青梅駅・東青梅駅・河辺駅の周辺や大きな
 どうろ ぞ みせ
 道路沿いにはたくさんのお店があり、にぎ
 わいが形成されています。

じんこう へ りようしゃ へ みせ し
 ⇒人口が減り、利用者が減ると、お店や施
 せつ か のうせい
 設がなくなっていく可能性があります。



おうめし
 青梅市のまちなみ

交通

おうめせん ろせん うんこう
 JR青梅線や路線バスなどが運行しており、
 こうつうきかん しないがい い き
 交通機関で市内外を行き来できます。

でんしゃ りよう ちいき
 ⇒電車やバスを利用しづらい地域がある
 ため、だれもが気軽に移動できるように
 ひつよう
 する必要があります。

産業

し ひがしがわ ちゅうしん こうじょう かいしゃ
 市の東側を中心に、工場や会社がたくさ
 ンあり、多くの人々が働く場所となっています。

わか ひと はたら ばしよ もと おうめし
 ⇒若い人たちが働く場所を求めて青梅市を
 はな ひつよう こうじょう かいしゃ
 離れる必要がないように、工場や会社が
 かんきょう まも ひつよう
 ある環境を守っていく必要があります。

災害

おおあめ どしゃさいがい じしん はっせい
 大雨や土砂災害、地震が発生したときに、
 いえ たお みず つ か のうせい
 家が倒れたり、水に浸かったりする可能性
 があります。

おおあめ どしゃさいがい じしん しぜんさいがい
 ⇒大雨や土砂災害、地震などの自然災害に
 つよ つく ひつよう
 強いまちを作る必要があります。

自然

たまがわ ぞ みたけさん ゆた しぜん
 多摩川沿いや御岳山などに豊かな自然
 があり、市のかげがえのない資源となっ
 ています。

ゆた しぜんかんきょう せつきよくてき まも
 ⇒豊かな自然環境を積極的に守ることで、
 かんきょう つく
 みどりがあふれる環境を作ります。

景観

しな い さまざま ばしよ ゆた しぜん ふる
 市内の様々な場所で、豊かな自然や古く
 たても の ぎょうじ
 からのまちなみ、建物、行事があります。

れきし ぎょうじ う つ しょう
 ⇒歴史あるまちなみや行事を受け継ぎ、将
 らい きょうりよく まも
 来につなぐために、みんなで協力して守
 ひつよう
 りする必要があります。



そら み おうめし おうめ しゅうへん
 空から見た青梅市のまちなみ(青梅インター周辺)

2. これからの青梅市

おうめし



ねんご おうめし めざ すがた
20年後の青梅市が目指すべき姿をまとめたよ！

しんりん い
森林やまちなかのみどりを活かし
ながら、自然にふれあえる環境づく
りに取り組みます。

くるま いどう
車がなくても移動しやすいよう
に、電車やバス、新しい公共交通
などで自由に行き来できる環境づく
りに取り組みます。

おうめえき ひがしおうめえき かべえき
青梅駅・東青梅駅・河辺駅の
周りや大きな道路沿いに便利
な施設を集め、にぎわいのあ
る空間づくりに取り組みます。

いえ た か
家がたくさん建っている箇
所は住宅地としての環境を
まも
守っていきます。

さいがい はっせい
災害が発生しても、みんなで
協力しながら安心して暮らせる
環境づくりに取り組みます。

じゅうたく ちいき ひと
住宅があるエリアは地域の人とのつながりを
大事にしながら、住みやすい環境づくりに取り
組みます。

ふる たてもの ぎょうじ
古くからのまちなみ、建物、行事をみ
んなで協力しながら守っていきます。

くるま ひと あんしん い き
車や人が安心して行き来でき
る道路空間や歩道空間を作っ
ていきます。

こうじょう かいしゃ た
工場や会社がたくさん建っている
箇所はたくさんの人が働く環境を
まも
守っていきます。



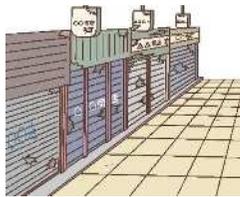
アンケート
けっか ちゅうがくせい
結果(中学生)

しょうらい おうめし よ
「将来の青梅市がどのようなになっていると良いか」という問いに対して、「居心地のよい住宅地があるまち」、
「買い物が便利にできるまち」、「森や川などの自然が豊かなまち」が多かったよ！

3. 青梅市が目指す方向性 (1)にぎわい・住むための環境について

青梅市の現状

お店や便利な施設を利用する人が減って、施設自体がなくなっていく可能性があります。



農業や林業に関わる人が減ることで、住む人も減っていく可能性があります。



遊具などが古くなることで、公園が使われる頻度が少なくなる可能性があります。



必要なこと

多くの人を訪れる場所に、お店や便利な施設が建ちやすい環境を作っていくことが必要です。

農地や森林の環境を守りながら住みやすい住宅があるエリアを作っていくことが必要です。

みんなが利用しやすい公園を作っていくことが必要です。

目指す方向性

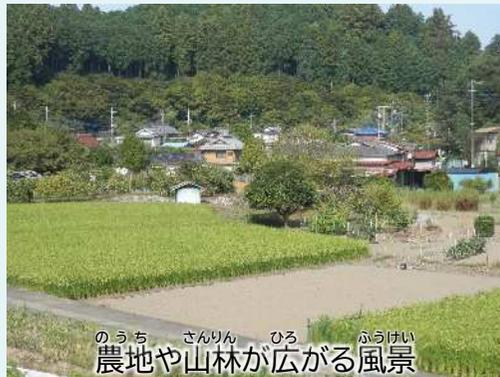
青梅駅・東青梅駅・河辺駅周辺や大きな道路沿いに多くのお店や便利な施設を集め、にぎわいのある空間を作っていきます。

農業や林業に関わる人を増やしながらか、空き家の活用などにより、住宅があるエリアの環境を守っていきます。

安全で快適に過ごせる公園にするため、計画的に施設などを新しくしたり、だれもが利用できるような工夫をしていきます。



にぎわいのある駅前



農地や山林が広がる風景



市内の公園



アンケート
結果(中学生)

「青梅市のまちづくりに関して思っていること」という問いに対して、ショッピングセンターや遊べる施設を求める意見が多かったよ！

3. 青梅市が目指す方向性 (2) 道路や交通について

青梅市の現状

歩道に電柱や段差があり、車いすやベビーカーなどが利用しづらい道路があります。



路線バスが近くを走っておらず、車以外で気軽に移動できない場所があります。



交通事故が多く発生している場所があります。



必要なこと

だれでも安心して利用できる道路を作ることが必要です。

だれもが気軽に移動できるようにすることが必要です。

交通事故が少ないまちづくりをこれからも進める必要があります。

目指す方向性

段差のない道路や電柱のない道路など、歩きやすい道路環境づくりを進めていきます。

使いやすい路線バスのあり方や、新たな移動方法を作ることで、だれもが気軽に移動できるようにします。

道路に案内表示をつけるなど、交通事故が起きにくい道路づくりを進めていきます。



電柱が少なく歩きやすい道路



みんなで使えるレンタサイクル



案内表示がある道路



アンケート結果(中学生)

「青梅市のまちづくりに関して思っていること」という問いに対して、「自転車が走りやすい道」や「歩きやすい道」がほしいといった意見や、「電車やバスが使いやすいまちにしてほしい」といった意見があったよ!

3. 青梅市が目指す方向性 (3)自然環境について

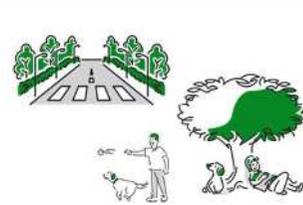
青梅市の現状

青梅市の6割以上が山や川などの豊かな自然であり、みどりの宝庫となっています。



美しい田園風景

まちなかには公園や街路樹などのみどりがたくさんあります。



必要なこと

豊かなみどりである山や川などをこれからも守っていく必要があります。

自然を守っていくためには、自然と親しめる環境や自然を知る環境を作ることが必要です。

まちなかのみどりを活かしながら、みどりに触れ合える環境を作ることが必要です。

目指す方向性

みどりを守るルール作りやボランティアとの協力を進めながら、みんなが憩われ、自然に触れ合える環境を守っていきます。

身近にあるみどりを自然観察や学びの場として活用し、自然環境の大切さを伝える活動を進めます。

まちなかの公園や街路樹を活かし、みどりあふれる快適なまちづくりを進めます。



多摩川治いの豊かなみどり



自然環境を学ぶ機会



みどりあふれる空間

アンケート
結果(中学生)

「住んでいる地域の良いところは」という問いに対して、「森や川など自然の親しみやすさ」や「公園の遊びやすさ」といった回答が多かったよ！

3. 青梅市が目指す方向性 (4)安全・安心のまちづくりについて

青梅市の現状

家やビルが倒れるほどの強い地震が起きる可能性があります。



地震により倒れた建物

大雨や土砂災害で被害が予想されている箇所があります。



大雨により崩れた道路

管理されていない空き家が増えることで、放火などの犯罪が増える可能性があります。



必要なこと

地震や大雨による災害に負けないまちづくりを継続して進める必要があります。

空き家をなくしたり、活用することで犯罪や災害への影響を減らす必要があります。

目指す方向性

地震などによる建物倒壊や火災が燃え広がらないまちをつくっていきます。

土砂災害が発生しても安全に避難できるような対策を進めたり、川の氾濫や洪水を減らすための対策を進めていきます。

古い空き家を取り壊す支援のほか、管理をしやすくなるための支援を進めていきます。



防災訓練の様子



土砂災害対応訓練の様子



空き家を活用したお店



アンケート
結果(中学生)

「青梅市のまちづくりに関して思っていること」という問いに対して、「安全に避難できる環境にしてほしい」や「自然災害が起きても安全に暮らせるまちにしてほしい」といった意見があったよ！

3. 青梅市が目指す方向性

(5) 働く場所・地域の資源・観光について

青梅市の現状

市の東側に工場や会社がたくさんあり、多くの人が働いています。



山と川に囲まれた風景は青梅市を象徴するものとなっています。



多摩川や御岳山などは、市外からも多くの人が観光に訪れています。



必要なこと

まちににぎわいを生むために、働く人が青梅市に集まれるよう、より多くの働く場が必要でです。

青梅市を象徴する風景やそれを活用した行事を残していくため、みんなで協力することが必要でです。

多くの人が訪れたいと思えるような魅力を充実させることが必要でです。

目指す方向性

工場や会社を呼び込むことで、より多くの人が働ける場所を作っていきます。

豊かな自然に囲まれた風景をみんなで協力して守り育てる活動を盛り上げます。

多摩川や御岳山などのみどりを活かし、より多くの人が観光で訪れる環境を作っていきます。



より多くの人が働ける場所づくり



「青梅の森」の活用



御岳渓谷



アンケート
結果(中学生)

「青梅市が好きな理由」という問いに対して、「自然環境が良いから」が最も多かったほか、「青梅市のまちづくりに関して思っていること」という問いに対して、「有名な会社があると良い」といった意見があったよ!

4. 20年後の青梅市がどのようなまちになっていると良いか、考えてみよう！

す かんきょう
1. 住むための環境をよくするためには？



じしん おおあめ さいがい つよ
4. 地震や大雨など災害に強いまちにするためには？



とほ じてんしゃ あんしん いどう
2. 徒歩や自転車、バスなどで安心して移動するためには？



おお ひと はたら おとず おも
5. 多くの人に働きたい、訪れたいと思ってもらうためには？



やま こうえん まも
3. 山や公園などのみどりを守るためには？



いま ようす おうめし めざ ほうこうせい
今のまちの様子から青梅市が目指す方向性がわかったね！

かせんそ 河川沿いはみどりがたくさんあって歩いて気持ち良いね！
えきまわ いるいろ しせつ 駅の周りは色々な施設があつて遊んでにぎわってるね！



ねんご
20年後どんなまちになってほしいかな？





青梅市都市計画マスタープラン ことも版
令和7年12月 発行

発行 青梅市
編集 青梅市都市整備部都市計画課
〒198-8701 東京都青梅市東青梅 1-11-1
電話 0428-22-1111 (代表)
青梅市ホームページ <https://www.city.ome.tokyo.jp>